

校長より

昨日、CS（コミュニティスクール）を先進的に行っている安平町に、準備委員会の方々と視察に出向きました。これは、来年度の平成31年度より岩内町が進める計画のCSにおいて、CSの進んだ安平町の取り組みを学ぶものです。当日は、具体的な取り組みは勿論、開設までの流れについて、様々な事例を交えながら担当者より説明を頂きました。特に、安平町は平成18年に旧早来町と旧追分町が合併し、その中での取り組みだったため、苦労も数多くあったようです。当時の教育長、現在は文科のCSマイスターであられる豊島滋さんが「教育で町づくりを行う！ 町政と教育は表裏一体である」と、熱い思いで説明をされていたのが、とても印象的でした。

今回の視察を、来年度のCS開設に向けて、委員の一人として活かしていきたいと思えます。

事務職員より

昨日、準備委員会の方々と安平町に視察研修に行ってきました。本校からは校長と事務職員の2名が参加しました。安平町は社会教育が盛んな地域ということを生かし、まちづくりに軸足を置いてコミュニティ・スクールに取り組まれています。町内で連携して行う防災キャンプ、子どもたちの声から始まった園庭の整備等特色のある事業を行っています。

岩内町では、平成29年度からコミュニティ・スクールの設置に向けた準備が始まっています。安平町では、課題を学校・保護者・地域の方で解決しながら取り組み、学校運営協議会の設置から5年が過ぎたそうです。岩内町でも学校・保護者・地域が一体となった取り組みを行えるよう準備をしていきたいと思えます。

※CS（コミュニティスクール）とは、

地域住民が学校づくりに関わるために、学校運営協議会の場で意見や要望などを出しながら学校経営に反映をさせるもの。

○地域住民が学校の応援団として活動を行う

○子供たちが主体的に地域貢献のできる環境づくり

○学校・保護者・地域のパイプ役      などが主な一つの例です